

# こころのやすらぎを求めて

## ～孤立・トラウマ・お金～

第一回井戸端トークは、Covid-19が猛威を振るう中始まりました。「いつまで自粛生活が続くの?」「マスク代、意外とかかるなあ」「パーッと飲み会したいけど今は我慢」…。自粛生活が続いていますが、皆さん、こころは健康ですか? 今回の研究井戸端トークのテーマは「こころのやすらぎを求めて」。臨床精神医学、社会心理学、科学技術史、医療経済学の研究者をお招きし、孤立・トラウマ・お金の観点から「こころのやすらぎ」についてざっくばらんにおしゃべりします! 新たな取り組みや考え方、新たな価値の創造や協働など、未来に向けたトークや繋がりも期待します。

2021.12.13 **MON**

16:30-18:00

| Onsite @ Zoom |

内容 ▶ 簡単な話題提供 + 参加者も含む自由な対話

対象 ▶ 研究者・大学院生 (全分野歓迎!)

開催形式 ▶ 現地&オンラインハイブリッド開催

(場所: 広島大学 ミライクリエ1F多目的スペース)

事前登録 ▶ <https://bit.ly/2Zln6t6> またはQRコードから

※ 参加費無料!

※ 現地参加は先着20名までとさせていただきます。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、完全オンライン開催となる場合があります。予めご了承ください。



岡本 百合 教授 **司会**

広島大学保健管理センター  
専門: 臨床精神医学/心身医学

拒食症や過食症などの摂食障害の認知メカニズムと治療的介入について研究、治療や回復への援助まで携わっている。現在は大学の保健管理センターにおいて学生や教職員の心身の健康を守る立場として、心の悩みを持つ人への支援を続けている。

角谷 快彦 教授 **話題提供**

広島大学大学院人間社会科学研究科  
専門: 医療経済学/社会保障論/金融リテラシー

広島大学Distinguished Professor、広島大学医療経済研究拠点 (HiHER) 拠点長、少子高齢化時代の家計および健康経営の在り方、そして医療や介護をいかに公正かつ効率よく配分するかについて、国際比較を交えた実証分析を行っている。



中村 江里 准教授 **話題提供**

広島大学大学院人間社会科学研究科  
専門: 科学技術史/日本近現代史

戦争と心的外傷 (トラウマ) の歴史について研究。アジア太平洋戦争で多くの日本兵が体験したトラウマが、長い間「見えない問題」になっていたことに問題意識を持って研究を進めている。

中島 健一郎 准教授 **話題提供**

広島大学大学院人間社会科学研究科  
専門: 社会心理学/教育心理学

「人は環境に対してどのような影響を及ぼし、環境からどのような影響を受けるのか」、それを追究したいと考えている。そのために「自己一人一集団一社会の重層性についての心理学的検討」を続けている。

